

特定非営利活動法人ケアセンターいこい
職員の処遇改善に関する取り組み

当法人は、令和8年度介護職員等処遇改善加算を取得し、賃金改善と職員の処遇改善に、以下のとおり取り組みます。

1. 加算取得状況

事業所名	令和8年 4月と5月 加算区分	令和8年 6月以降 新加算区分	令和8年度 特例要件
ケアセンターいこい指定訪問介護事業所	加算Ⅰ	加算Ⅰロ	ケアプランデータ連携システムを利用済
いこいデイサービスセンター	加算Ⅰ	加算Ⅰロ	
いこいデイサービスセンター・平泉	加算Ⅱ	加算Ⅱロ	
デイサービスセンターいこいの丘	加算Ⅰ	加算Ⅰロ	
いこいハートセンターげんき	加算Ⅰ	加算Ⅰロ	生産性向上推進体制 加算Ⅱを算定済
高齢者グループホームいこいの華	加算Ⅱ	加算Ⅱロ	
高齢者グループホームいこいの杜	加算Ⅱ	加算Ⅱロ	ケアプランデータ連携システムを利用済
デイサービスセンターいこいの杜	加算Ⅱ	加算Ⅱロ	
高齢者グループホームいこいの友	加算Ⅱ	加算Ⅱロ	生産性向上推進体制 加算Ⅱを算定済
ケアセンターいこい指定居宅介護支援事業所	—	加算	ケアプランデータ連携システムを利用済
いこい居宅介護支援平泉事業所	—	加算	

- キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ：任用要件および賃金体系の整備等は実施済み(就業規則)、計画を立て研修を実施
- キャリアパス要件Ⅲ：昇給の仕組みあり(定期昇給あり)
- キャリアパス要件Ⅳ：地域の賃金水準が低いため適用除外
- キャリアパス要件Ⅴ：介護福祉士等の配置要件がわかる加算算定

2. 職場環境要件の具体的取組内容

	職場環境要件項目	当法人の取り組み
入職促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 ● 他産業からの転職者・主婦・中高年齢者等、経験や有資格にこだわらない幅広い採用(採用実績) ● 職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用は事業所間共通で実施し、適材適所の配置を心掛け、職員のワークライフバランスにも配慮する ● 他業種から転職者・中高年齢者の受け入れ実績有 ● 毎年、中高生の職場体験を積極的に受け入れする ● 市の行事への参加や協賛、各事業所と地域の皆さまとの交流会開催、市内スポーツ少年団駅伝交流大会に協賛する等、地域とのかかわりを大切にしている
資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い研修の受講支援等 ● エルダーメンター制度導入 ● 上位者・担当者等によるキャリア面談など、定期的な相談の機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務シフト調整により研修受講を優先的にできる配慮。また、法人内にて喀痰吸引の実地指導環境を整え、職員が継続的に研修を受けられる環境 ● 資格取得支援制度により、受講費用補助や合格祝金により職員が受講しやすい環境を整備 ● 新人職員にはOJT担当者を配置し指導育成する ● 年1回以上の職員と管理者の面談を実施
多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の事情や状況に応じた勤務シフト、短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 ● 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の事情に配慮した勤務シフトを相談調整 ● 非正規職員から正規職員への転換制度が整備されており、転換を毎年継続的に実施 ● 有給休暇の取得しやすい雰囲気はあるが、さらに属人化解消は都度意識して業務分担を行っており、情報共有も常に協議し改善を進めている
管理 心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務や福利厚生、メンタルヘルス等の相談体制の充実 ● 短時間勤務労働者も受信可能な健康診断・ストレスチェックや従業員の為の休憩室設置等実施 ● 職員の身体負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種相談窓口を設置して対応 ● 短時間労働職員も健康診断を受診可能。 ● 介護技術修得は、オンライン研修を全ての事業所から閲覧できる環境を整備 ● 腰痛発生しそうな事案は、早期にスライドボードやマッスルスーツなどの機器を利用し腰痛防止に努める
生産性向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 厚労省の示す「生産性向上ガイドライン」に基づき業務改善活動の体制構築 ● 5S活動等の実践による職場環境整備 ● 介護ソフトや情報端末の導入 ● 介護ロボットやインカム等の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入 ● 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品共同購入、等の職場環境取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● DX推進チームを組織し、デジタル技術活用のみにとどまらず、現場での業務効率化、改善等を促進する体制を構築。課題の洗い出しから改善まで一貫して活動中。 ● 安全衛生委員会(4S)を定期的に開催し5S活動を推進 ● 介護専用システムを導入し、利用者情報・記録・請求業務まで一貫しており、業務の効率化を図っている。 ● 各フロアへタブレットを導入 ● 指針・マニュアル・計画は全事業所間共通共同で総務と本部主導で整備、委員会は共同開催する
働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域児童・生徒や住民との交流の実施 ● ケアの好事例や、利用者や家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の児童会や学童との交流行事を積極的に行う ● 各事業所で日々起きている問題点・良い点を、キャプテン会議を通して法人内で共有する